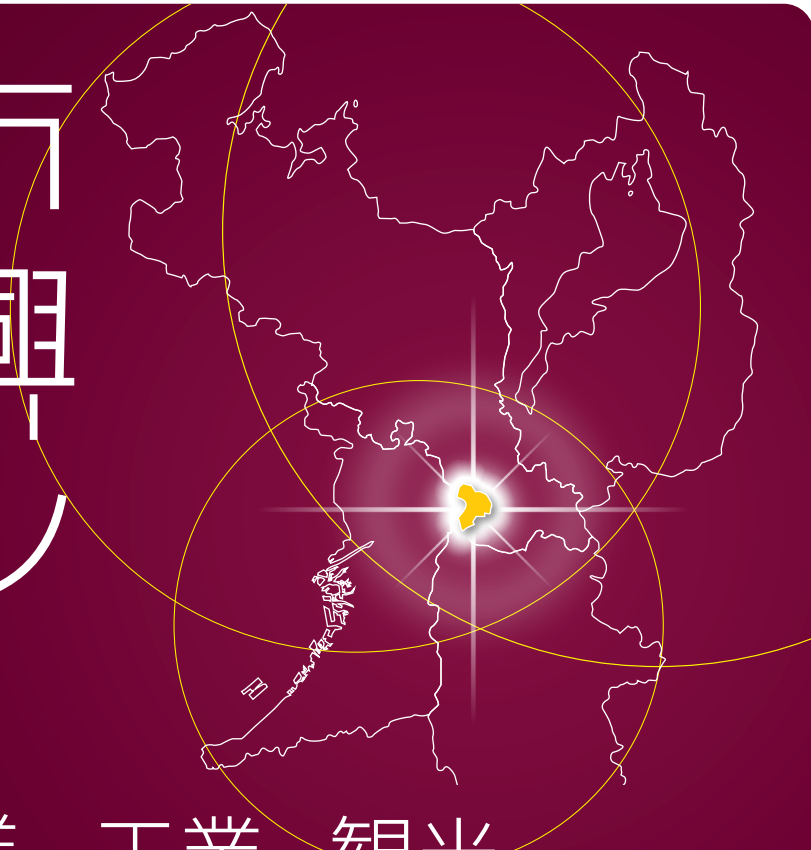


京田辺市 産業振興 ビジョン

概要版

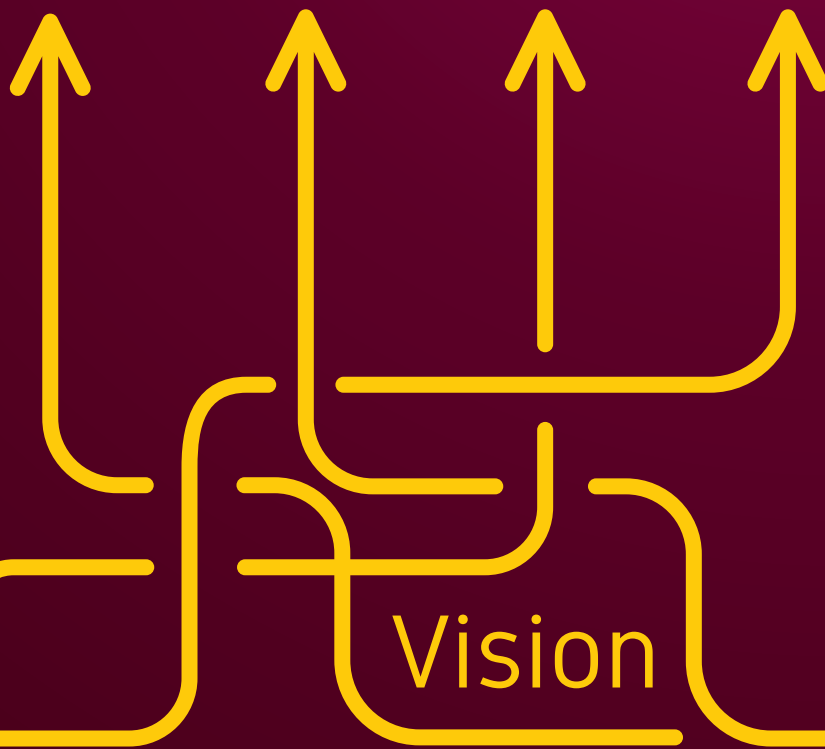


農業
Agriculture

商業
Commerce

工業
Industry

観光
Tourism



Kyotanabe City

平成28年3月

産業振興ビジョンの策定にあたって

策定の目的・必要性

京田辺市は、これまで京阪神地域への交通利便性などに優れた地理的特性を生かし、良好な住環境、事業環境が整備され、人口増加とともに、地域経済も発展を遂げてきました。今後、グローバル経済の拡大等による企業間競争の激化、人口減少社会が到来する中で、さらなる発展を遂げるためには、中長期的視点のもと、戦略的に取組を進めていく必要があります。

京田辺市産業を取り巻く状況

京田辺市の強み

- ◎主要都市への良好な交通アクセス
- ◎全国でも数少ない人口増加都市
- ◎若年層の労働力人口の多さ
- ◎大学の存在により、若者が流入
- ◎関西の大消費地への近さ
- ◎都市近郊にありながら豊かな自然環境

事業者の声

- 京奈和道、第二京阪、京都縦貫道など、物流環境が充実している。
- ロケーションが交通の要所。関西においてどこへ行くにも便利で効率が良い。
- 子育て環境が充実しており、従業員の居住環境として良い。

京田辺市の弱み・課題

- ◎経営耕地面積、農家数の減少(農業)
- ◎事業所数、従業員数、製造品出荷額等の減少(工業)
- ◎人材の集めにくさ(商業・工業)
- ◎小売吸引力の弱さ(消費の市外流出)(商業)
- ◎宿泊施設の撤退による観光客の減少(観光)

事業者の声

- バスの便が非常に悪く、従業員の通勤が不便。
- パート・アルバイトをはじめとする、人材の確保が難しい。市内在住者はなかなか応募がないので、周辺市町まで広げて募集している。
- 宿泊施設がないので、出張者は京都か大阪のホテルに泊まっている。

京田辺市に求められる取組

- ◎【農業】 農業基盤の充実、農地の流動化、直売所の充実、地域ブランド化の推進
- ◎【商業】 特徴ある個人店舗の充実
- ◎【工業】 製品開発、新分野進出、人材育成に向けた支援
- ◎【観光】 周辺市との連携、市民が郷土に愛着が持てる取組、関西大都市圏からの誘客

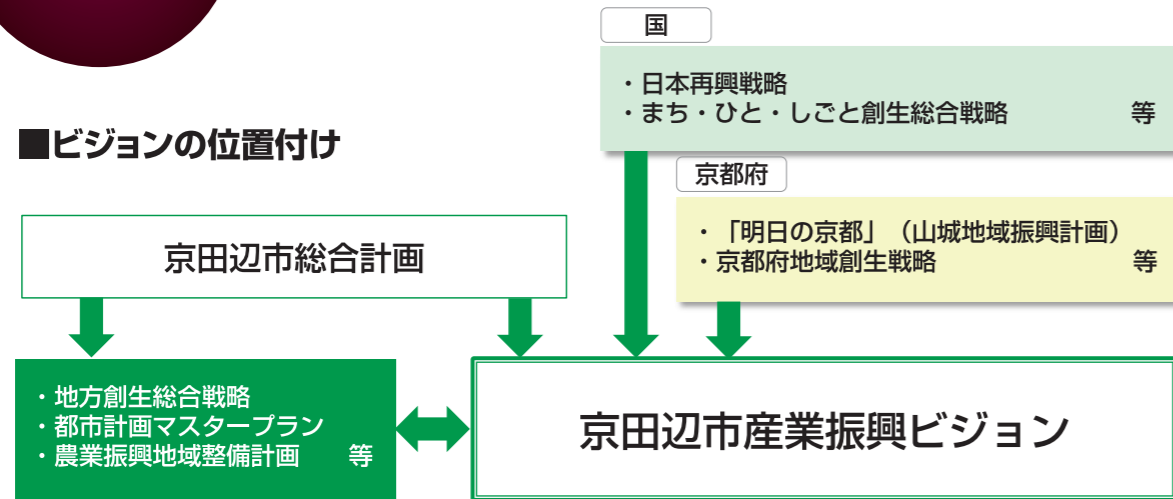
事業者の声

- 特産品などをもっと知ってもらう機会を作ることが必要(農業)。
- 商業地区全体のまちづくりのビジョンが見えないと、再投資しにくいのではないかと(商業)。
- 市民と企業の接点が少ない。市内で調達先が見つからない(工業)。
- ビジョンをベースにして、観光関係機関の連携を進めていく必要がある(観光)。

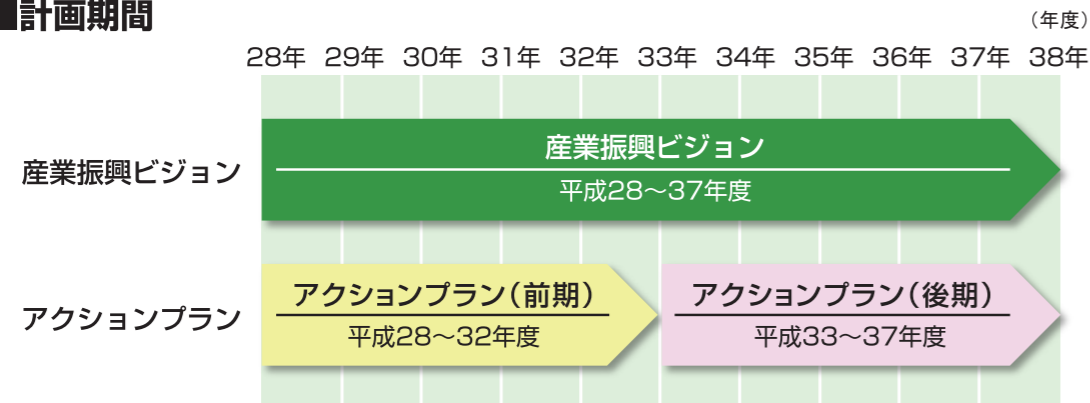
ビジョンの位置づけ・計画期間

- 国、京都府などの関連する様々な計画と連動
- 計画期間は平成28～37年度の10年間
5年後の平成32年度末には中間見直し

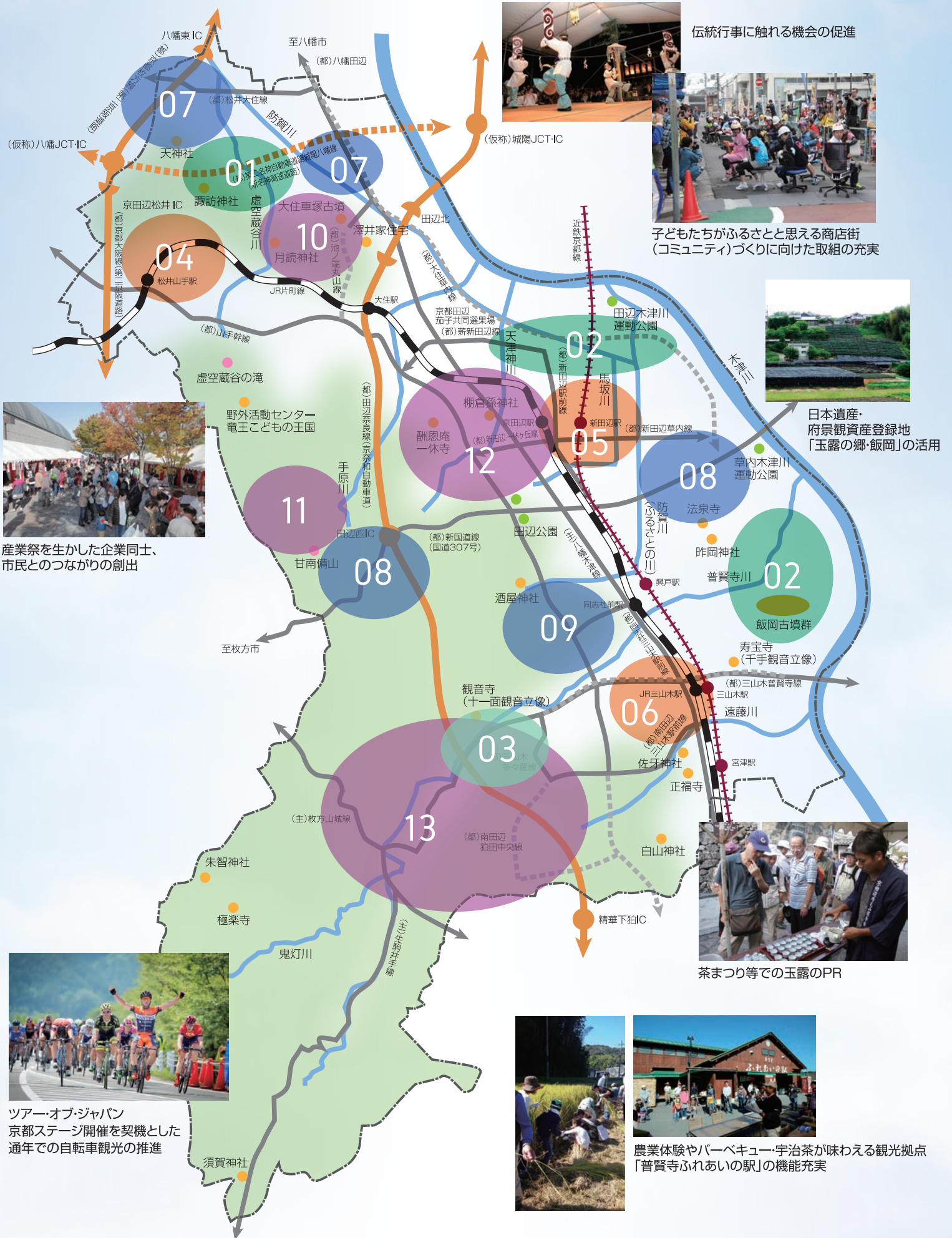
■ビジョンの位置付け



■計画期間



事業者と市民がともに手を取り、快適な事業環境と豊かな生活を創造するまち
 ビジョンを通じて実現を目指すまちの姿 **Vision Kyotanabe City**



伝統行事に触れる機会の促進



子どもたちがふるさとと思える商店街(コミュニティ)づくりに向けた取組の充実



日本遺産・府景観資産登録地「玉露の郷・飯岡」の活用



産業祭を生かした企業同士、市民とのつながりの創出



茶まつり等での玉露のPR



ツアー・オブ・ジャパン 京都ステージ開催を契機とした 通年での自転車観光の推進



農業体験やバーベキュー・宇治茶が味わえる観光拠点「普賢寺ふれあいの駅」の機能充実

農業振興のビジョン

01

北部

- ほ場整備が進んでいる地域で、平野部のまとまった農地を生かし、米やナス等の生産が盛んに行われる。
- ハウスを利用した施設栽培の野菜が生産される。

02

中部

- 平野部のまとまった農地を生かし、米、ナス、えびいも等の生産が盛んに行われる。
- 木津川河川敷や普賢寺川流域、飯岡の丘陵地を中心に覆下茶園が広がり、良質な玉露、碾茶の栽培が行われる。
- 日本遺産、京都府景観資産登録地に指定された「玉露の郷・飯岡」では玉露の産地特有の景観が広がる。

03

南部

- 普賢寺ふれあいの駅では、新鮮野菜の買い物のほか、宇治茶を使ったカフェ、パーベキュー、農業体験(稲刈り・味噌づくり等)などを楽しむことができる拠点として市内外から人が訪れ滞在する。

商業振興のビジョン

04

北部

- 八幡市に続く山手幹線沿いには、JR松井山手駅を中心に整ったまち並みが形成され、個性ある小売店・飲食店が集積し、市内外から顧客が集まる。

05

中部

- JR京田辺駅周辺は大型店を核施設にオフィスビル・店舗が立地、近鉄新田辺駅西側は多くの飲食店が集積、鉄道乗り換え客、学生が集い、夜までにぎわいをみせる。
- 近鉄新田辺駅東側はキララ商店街が中心となり、「子育て世帯や高齢者が楽しく安心して買い物ができる商店街」を目指し、市民や学生と連携し、空き店舗活用やにぎわいイベントなどを行う。

06

南部

- 土地区画整理事業により、近鉄・JR三山木の2駅を核にゆったりとした駅前広場が広がり、周辺にはスーパーマーケット、利便施設が立地、新たな商業エリアとして成長する。
- 同志社大学などの学生を含めた様々な年代の人が集い、にぎわいを創出する商業・業務施設が充実し、人口増加が進む同志社山手地区からの利用も進み、京田辺市全体の活性化の原動力となる。

農業者が生き生きと働ける魅力あふれる農業・農村を創造し、消費者に安全安心な京田辺市産農産物を提供するまち

基本方針 1

次代を見据えた安定的な農業の担い手の育成

新たな農業の担い手育成、農地の有効活用に向けた流動化の推進、農業の共同化・法人化支援

基本方針 2

消費者ニーズに応える戦略的な販路開拓支援

農産物の販路の確保・拡大、農産物のブランド化、他業種との連携等による新たな消費の創出

基本方針 3

幅広い食育・地産地消の推進

市民に親しまれる体験・交流型農業の振興、京田辺市産農産物を活用した地産地消の推進、農産物や農業への理解促進のための食育事業の推進



基本方針 4

豊かな農空間の保持と多様な活用方法の推進

農地の多面的機能の保全、地域での農業維持の取組に対する支援

商業者が個性を生かした魅力ある店舗づくりを行い、市内外の人々が集う、にぎわいと活力に満ちた、快適でくらしやすいまち

基本方針 1

商業の担い手の支援と育成

商業団体への活動支援、事業承継や新事業展開への支援、新たな商業の担い手の発掘と育成

基本方針 2

魅力ある店舗づくりと新商品の創出支援

魅力ある小売店・飲食店の集積や特色ある商店街形成の支援、消費者ニーズに応える新商品の創出支援、市内外に向けた店舗の魅力発信と利用促進

基本方針 3

子育て世帯や高齢者等みんなにやさしい買い物環境の整備

買い物困難者に対する支援、誰もが利用しやすい店舗づくり

基本方針 4

地域の個性を生かした商業地の形成

各商業集積地への来街促進



工業振興のビジョン

07

北部

●新名神・第二京阪道路の交通利便性を生かした新たな工業地域として充実し、新たな工業・流通業務地が形成される。

08

中部

●広域幹線道路等の交通利便性を生かし、生産性の高い工場、流通施設が集積し、事業活動の活発化、市内消費の拡大が進む。

09

南部

●D-egg(同志社大学連携型起業家育成施設)を拠点にベンチャー企業が大学の研究成果を活用し、活発に研究開発を行い、新しい製品、技術が生み出される。

観光振興のビジョン

10

北部

●澤井家住宅、野外活動センター(竜王こどもの王国)、伝統行事「大住隼人舞」等の資源を生かし、昔ながらの家並みと自然が続き、歴史とのどかな風情を味わえるエリアとして、市内外から人が訪れる。

11

中部

●甘南備山では散策ルートや展望台、休憩所、トイレなどの施設が充実し、四季折々の変化を楽しめるスポットとして、ハイカーを中心に市内外から人が訪れる。

12

中部

●一休寺が京田辺市のシンボルとして他の観光資源と連携し、イベントや体験観光など新たな取組を展開し、市外の観光客をひきつける。
●観光協会の機能強化・アンテナショップの設置により、京田辺市の観光の玄関口となる。

13

南部

●新たな観光資源であるツアー・オブ・ジャパンのコースを最大限に活用し、自転車愛好家など、市内外から観光客が集まる。
●普賢寺地域の菜の花畑や里山の美しい風景や大御堂観音寺、二月堂竹送りなどの歴史・伝統に触れる観光事業により市内外から観光客をひきつける。

多様な企業が強みを磨き、快適に事業活動を行い、地域と共に持続的に発展していくまち

基本方針 1

工業の担い手の確保と育成

市民が企業を知る機会の創出、企業間交流を生かして取り組む人材育成と事業承継の推進、安心して創業できる支援体制・環境整備の充実

基本方針 2

ネットワーク構築による経営資源の充実に向けた企業支援

企業同士をつなげる仕組みづくり、大学の研究成果活用や学研都市研究施設との連携による企業の事業高度化促進、成長を目指す企業へのプラスワン支援(個別育成・重点支援)

基本方針 3

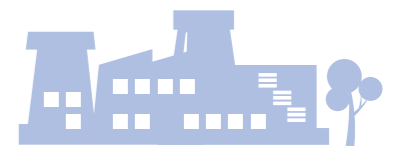
事業活動が行いやすい環境整備

働く舞台(まち)の快適性・安全性の向上、新たな事業用地の創出と既存工業地域における未利用地活用促進

基本方針 4

市民・企業・行政の相互理解・連携強化

企業の地域貢献活動の促進、地域の魅力を企業に伝える取組、支援情報を適切な時期に効果的に伝達する仕組みづくり



市民が郷土愛ととんち(アイデア)をもって安らぎと潤いのある観光地づくりを行い、市民と観光客が「ひとやすみ」できるまち

基本方針 1

ストーリー性・テーマ性のある観光地づくり

新たな資源を生かした目玉となる観光商品の確立、「体験する・体感する・学ぶ」ことができる観光地づくり、観光客の利便性と快適性を向上するための環境整備

基本方針 2

市民の郷土愛醸成と観光の担い手育成

住んでいるまちへの誇りと愛着を生む取組、市民によるおもてなしの心が広がる取組、観光振興の中核機能の強化

基本方針 3

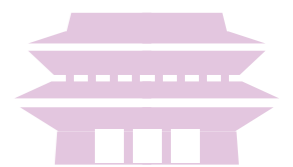
「ひとやすみ観光」を生かした交流人口の拡大

京阪神地域在住者をターゲットとした日帰り観光客の誘客、観光都市(京都・大阪・奈良)からの一足伸ばし観光の推進、市民と観光客が交流することによるにぎわいと活気を生む取組

基本方針 4

ブランド力向上による地域経済の活性化

知恵とネットワークを生かした京田辺らしい特産品の開発、京田辺の逸品・土産物の消費拡大





京田辺市 経済環境部
経済環境政策推進室

〒610-0393 京都府京田辺市田辺80番地
TEL 0774-63-1122 (代表)
FAX 0774-64-1359